



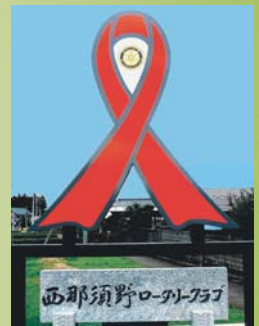
Service Above Self (超私の奉仕)
西那須野ロータリークラブ週報

Nishinasuno Rotary Club Weekly

● 小関 栄 西那須野ロータリークラブ会長テーマ ●

ロータリーを楽しもう！

第2396回(本年度11回)2023. 10. 24



RIテーマ

世界に希望を生み出そう

ゴードン R. マッキナリーRI会長



地区テーマ

ロータリーの基本はクラブです！
 クラブを通じたロータリー生活を楽しみましょう！
 言葉や口先だけでなく「行動」をもって誠実に
 ロータリーを楽しみましょう！

世界に希望を生み出そう

三井 福次郎 2550地区ガバナー



開会宣言・点鐘 会長 小関 栄さん
 司会 SAA 小中 一成さん
 ロータリーソング (四つのテスト)
 お客様紹介 地区資金推進並びに恒久基金/
 大口寄付推進小委員会委員長 羅田 秀顕様

3名、三島中から6名の参加をいただき、貴重な体験をできたことに感謝申し上げます。

今月は米山月間です。

また、11月は財団月間でもあります。会員でもあり、地区米山推進委員長 渡邊将宏さんに卓話をお願いしております。地区財団推進委員長 羅田秀顕様より卓話をいただきます。本日よろしくお願ひ致します。

会員の皆さん方には米山月間の個人寄付をお願い致します。円安ドル高ですので個人寄付金額24,000円くらいになります。重ねてよろしくお願ひ致します。

会長の時間

会長 小関 栄さん

10月8日～12日の海外姉妹クラブ来訪及び友好クラブとのゴルフと観光案内のご協力、また、歓迎会にご参加いただき大変ありがとうございました。パラニアックRC・東水RC・桃園RCの会員の皆さんから感謝のメッセージを頂いています。

このことでまた各クラブとの絆と友好関係が深まったのではないのでしょうか。ご協力本当にありがとうございました。

尚、パラニアックRC周年式典を2024年2月に開催予定のことで、お誘い頂きました。

そして14日、アジア学院収穫祭にご参加の皆様、ご協力ありがとうございました。西那須野中から



11月14日 例会プログラム

- 12:30 開会宣言・点鐘 小関 栄会長
- 12:31 君が代・ロータリーソング (我らの生業)
- 12:33 お客様紹介 小関 栄会長
- 12:34 会員誕生・配偶者誕生・結婚祝 寺崎貴志親睦委員長
- 12:37 皆出席・在籍年数祝 益子 修出席委員長
- 12:39 お食事の時間・乾杯
- 12:55 会長の時間 小関 栄会長
- 13:05 理事会報告 太田 仁次期会長
- 13:10 委員会報告 各委員長
- 13:12 幹事報告 青山吉博幹事
- 13:16 桃園RC62周年記念式典参加報告 寺崎貴志会員
- 13:26 スマイルボックス報告 八木沢浩司スマイルボックス委員長
- 13:29 出席報告 益子 修出席委員長
- 13:30 閉会宣言点鐘 小関 栄会長

無断欠席は会費の無駄遣いです。欠席連絡は午前9時までに。

SAA 小中 一成 (携帯 090-3069-8870)
 FAX 0287-48-7606 TEL 090-3069-8870

会長 小関 栄 幹事 青山 吉博
 会報委員会 委員長 田原 直之・鈴木 仁志
 井上 雅央

委員会報告

ボランティア参加のお願い

青少年奉仕委員会委員長 梅村 悟志さん

『アジア学院収穫祭報告』

2023年10月14日(土)アジア学院収穫祭にボランティアとして参加してきました。

青少年の育成を目的に地域の中学生のボランティアを募り、国際奉仕をしてきました。

西那須野中学元PTA会長の齋藤会員のお力もお借りし西那須野中学からは5名、三島中学からは4名の計9名、西那須野ロータリークラブからは9名のお手伝いをいただきました。お手伝いいただいたみなさまありがとうございました。

ロータリークラブとしては水風船釣りをやりました。子どもたちに大人気で午前中のうちに完売してしまいました。

売上金は社会福祉協議会に寄付いたします。

売上金 4,550円



米山月間卓話

第2550地区米山記念奨学会委員会 資金推進委員長 渡邊 将宏さん

日頃より西那須野ロータリークラブに皆さんには米山記念奨学会事業にご協力いただきありがとうございます。

まずは米山記念奨学会の歴史を見ていきたいと思えます。

この写真は皆さんご存じのように、米山記念奨学会の基礎を築いた米山梅吉さんです。



米山梅吉(1868-1946)

- ・ポールハリスと同じ1868年(明治元年)に生まれる。
- ・その後渡米しダラスRC会員の福島喜三次と出会い、1920年日本で最初のロータリークラブ、東京RCを創立。
- ・日本初の信託会社、三井信託株式会社を創設。

米山梅吉さんはポールハリスと同じ1868年(明治元年)の生まれで、19歳で渡米し、8年間で2つの学校を卒業し、帰国後、事業家として大成功を収めました。

アメリカでの滞在中、ダラスRCの会員だった福島喜三次(きさじ)氏と出会ったことで、1920年日本で最初のロータリークラブ東京ロータリークラブを創立しました。

自身がアメリカ留学で大変苦勞した経験から、当時からアジアから日本へ留学してくる学生に、私費で支援を行っていました。

その後対米感情の悪化から、1940年に日本国内のロータリークラブは解散を余儀なくされました。日本のロータリーの復活を心待ちにしながら米山梅吉さんは1946年(昭和21年)に他界しました。

こちらの写真は栃木県西方村出身の古澤文作さんです。



古澤文作

- ・1952年東京RC会長、栃木県西方村出身。
- ・米山山記念奨学会の原点となる、米山基金の設立を提唱する。

川島ガバナー年度の地区大会で、JR栃木駅の北口公園に顕彰碑を作ったことを覚えている方も

多いと思います。

終戦後の1949年日本のロータリークラブが国際ロータリーに復帰ができませんでした。これは米山梅吉さんが亡くなった3年後になります。

1952年東京ロータリークラブの古澤文作会長は米山基金を設立しました。

米山基金の目的はアジアから優秀な学生を日本に招致し、学問技術を研究させようとするもので、これからの平和な日本を肌で感じてもらうためでもありました。

1953年より会員有志から1口1千円以上、法人からは1口1万円以上で総額260万円を募り、2名の学生を招致することになりました。

寄付の第1号は東京ロータリークラブの例会の常連で会った、アメリカ人のウィリー・ネルソンだったそうです。

その後1957年に米山基金は全国組織となり、1967年には(財)米山記念奨学会となり、今年年間900人を超える留学生を支援する奨学金事業となっています。

それでは現在の奨学生の状況を見てみましょう。

2023学年度の奨学生は全国で900人、今までの累計では131の国と地域から23,509人の学生を支援しています。

2550地区では現在23人の学生を受け入れていません。国籍は中国11人、バングラディッシュ4人、ベトナム3人、マレーシア2人、ネパール1人、モンゴル1人、シリア1人

第一グループでは2名を受け入れており、大田原のチョウセイイさんと西那須野のドンゲンコイくんとなっています。

それでは現在の寄付の状況を見てみましょう。

202～23年度の寄付はこのようになっています。寄付には、クラブから会員数分を納める形の「普通寄付金」と、それ以外に、個人・法人・クラブから、任意で支援していただく「特別寄付金」の2種類があります。

いずれも奨学事業に使用されるものですが、特別寄付金の方は、寄付をした個人や法人の実績となり、表彰の対象となります。

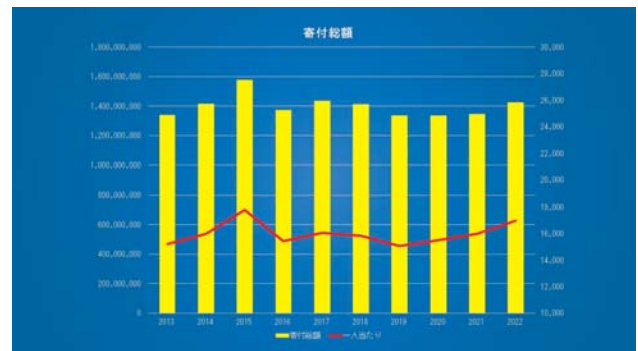
普通寄付 409,747,569円

特別寄付 1,013,167,688円

合計 1,422,915,257円(昨年比+6,700万円)

前年度の一人当たりの全国平均は15,971円で、本年度は16,960円と全体で1000円ほどアップしました。最も高かったのは、第2590地区(神奈川県横浜市・川崎市)の27,903円でした。

10年間の寄付総額の推移を見てみましょう。



米山奨学会への過去10年間の寄付金ですが、2015年には約15億7千万円あった寄付金は、近年ではだいたい13～14億円となっています。

前年度2022年度は14億円をこえることができました。これには米山学友から50万ドルの寄付がありました。



中国出身1962-63東京西RC、1963-65、66-68東京世田谷RC

50万ドル(約6650万円)

次に2550地区の状況です。

2022-23年度の2550地区の寄付は

普通寄付 6,295,000円

特別寄付 22,075,938円

合計 28,370,938円(昨年比-130万円)

当地区の個人平均寄付額17,288円。

そのうち普通寄付金は当地区は平均3,836円、全国平均は4,884円。

また、特別寄付金は当地区は13,452円、全国平均は12,076円でした。

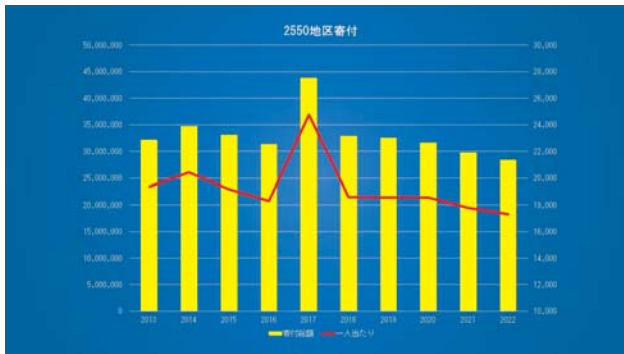
2550地区は普通寄付は平均より少ないですが、特別寄付が多くなっています。

また一人あたりの平均寄付額、17,288円は、全国で11番目の寄付額となっています。

現在2550地区の奨学生23人に毎月282万円の奨学金を支給しています。

一年間で3384万円になりますので、いただいた寄付以上に奨学金として支給しているのがわかるかと思います。

次に10年間の2550地区の寄付金額の推移を見てください。



2017年度には1000万円の大口の寄付があったので4400万近くの寄付をいただきました。

このコロナ禍で2550地区の寄付総額、一人当たりの寄付額は減少が続いています。

最後に西那須野ロータリークラブの寄付金額の推移を見てください。



8年間の西那須野ロータリークラブの寄付金額の推移です。

昨年は800,000円、一人平均16,666円の寄付をいただきました。

また2019年度には1,231,500円、一人平均24,630円と多額の寄付をいただきありがとうございました。この年は普通寄付6,000円

本年三井ガバナーは一人あたり19,000円を地区目標として決めました。（前年度地区寄付の一人当たりの平均17,288円）

米山記念奨学会の意義をご理解いただき、寄付のご協力をお願いいたします。

特別寄付が増えない現状普通寄付を増やす。普通寄付金は2550地区平均3,836円、全国平均は4,884円。

西那須野クラブの普通寄付は3,000円となっていますので増額の検討をお願いします。

外来卓話

ポリオプラス・ソサエティのご案内

地区資金推進並びに恒久基金／大口寄付推進
小委員会委員長 羅田 秀顕様

日頃は、国際ロータリーの最優先事項であるポリオ根絶活動にイベント、寄付等を通じご協力を賜り誠に有難うございます。

お陰様でポリオ根絶まであと少しというまでになってまいりました。しかしながら、根絶を迎えるまでは今までと同様に毎年多額の資金が必要となっております。

また、現状の不安定な政治環境、気候変動によると思われる災害もあり、根絶活動の遂行に予断を許さない状況でもあります。

今回のご案内は、ポリオ根絶までの活動資金の安定と増加にご協力頂くために世界のロータリー会員の皆様に表記のソサエティのご紹介をさせて戴き、多くの方々にご参加をお願いするものです。

この「ポリオプラス・ソサエティ：The PolioPlus Society(PPS)」プログラムは、すでに多くの国々のロータリー会員が参加しており、毎年100ドルをロータリー財団の「ポリオプラス」への寄付をお約束いただけるロータリー会員に登録していただき登録証とソサエティメンバーのピンバッジを受取っていただくものです。

なお、このご寄付につきましてもゲイツ財団より2倍の上乗せがございました。

つきましては、地区ガバナーよりポリオプラス・ソサエティプログラムの案内と登録申込書がガバナー事務所を通じ送られますので登録をお願いしたいと存じます。

■ PPSプログラムへの登録手順について (会員およびクラブ事務局)

- 申込み
 - ①申込会員は所属のクラブ事務局へ「申込書」を提出
 - ②クラブ事務局は登録者名簿(任意書式)に記載し保存
- 登録
クラブ事務局より地区ガバナー事務局へ「申込書」を送付(添付メール可)
- 登録書とバッジ
地区ガバナー事務局より送られる「登録証」「ピンバッジ」を登録者にお渡しいただく(例会



時を推奨)

・継続的なご寄付

登録者は毎年100米ドル(或いはそれ以上)を「ポリオ根絶」へご寄付いただくこととなります(分割も可)

(ご寄付はMy Rotaryサイトか通常の振込みにてお願い致します)

なお、各クラブ事務所では登録証とピンバッジのお受取り後は、特段の作業はございません。ご寄付の状況はロータリー財団の寄付実績に反映されPHF認証レベルの対象となり、クラブ、地区の実績にも反映されます。

「ロータリーの友」記事紹介9月号

ロータリー雑誌副委員長 益子 浩さん

横組みP7～P13

「ロータリーの友」毎月雑誌がつくられるまでを、熱心な読者であり、ロータリーの友地区代表委員としても関わった経験を持つ、アナウンサー・梶間順子さんが、ロータリーの友編集部を訪れ、雑誌づくりの現場レポート! 「ロータリーの友」が身近に感じられ、愛読するきっかけになればと思います。ぜひ一読をお願いします。

横組みP18～P20

ロータリー希望の風奨学金は、2011年3月11日に発生した東日本大震災によって、両親もしくはひとり親を亡くした被災遺児のうち、大学や専門学校に進学する若者への奨学金事業です。被災当時0歳であった子も対象とし、その子が大学を卒業するまでの、最低でも22年間のプログラムで、残すところ10年となった記事です。12年がたち風化されがちな震災をもう一度自分のこととしてとらえ、ロータリーの継続支援の重要性を再認識して下さい。

横組みP37

ロータリー財団管理委員長からのメッセージ
自分自身のロータリー・モメントをつく出そう
重度の心臓病で余命数カ月の診断をされた少年の命をロータリーが支援する「GIft of Life プログラム」により救った経験より、ロータリー財団を通じて多くのグループが協力すれば、どんなことができるか創造してほしいとっております。まだ、自身のロータリー・モメントを見つけてない方は、探し続けて下さい。財団を通じてロータリーに奉仕することが、ロータリー・モメントへの道であり、皆さん自身の人生を変えていくでしょう。と話しております。

縦組みP4～P8

読み書きが苦手な子供のために 大阪教育大学名誉教授・大阪医科薬科大学LDセンター顧問 竹田契一さんの、2022年1月22日RID2680社会奉仕委員会第24回発達障害理解のための基礎と実践講座要旨です。一読をお願いします。

発達障害に関しては、当クラブでも、福本君(西那須野幼稚園)が日々実践しております。機会があれば卓話をお願いしたいと思います。

縦組みP14～P15

ロータリー俳壇・歌壇・柳壇コーナーです。特に柳壇コーナーは心に安らぎをもたらすコーナーです。一読願います。

「ロータリーの友」記事紹介10月号

ロータリー雑誌副委員長 益子 浩さん

横組みP7～P14

若者の自立促す支援のカタチ 貧困の連鎖を断ち切るためにできること。

私たちが片柳会長年度より児童養護施設「養徳園・氏家養護園」の様々な支援事業を展開しております。親からの暴力で施設で共同生活をしている子供たちに、「那須どうぶつ王国」へ招待し、動物と触れ合うアニマルセラピー。養徳園園庭にてのバーベキュー(身近に見守っている大人の存在) 大学進学のための基金の設立。(学費・生活費を捻出するためアルバイトの掛け持ちで、本末転倒となり大学を中退する学生が、一般の学生より非常に多い為) 地区補助金事業で、奨学金の制度を設けてもらう等々の事業を展開しております。

支援には様々な方法があります。是非一読願います。

横組みP15～P21

今月は、米山月間です。特集記事一読願います。当地区、当クラブ共米山奨学会に関しては、思いいれがあります。ここ数年当クラブにおいては不備な点が目立ちますが、日本のロータリーにおいて重要な事業です。委員長はきちんと職務を全うして下さい。

横組みP24～P33

変貌し続けるシンガポール 豊かなアジアの都市国家が、またもや手に入れた「新しい顔」シンガポールの成功の秘訣は、生き残り、成長するために必要なものをつくり直し続けること。毎年でも、10年ごとでも、新しい変化がもたらされます。世界で最も緑豊かな都市を目指すシンガポールの人々は、「自然に囲まれた街」を好みます。世界中の主要都市で見られるヒート

アイランド現象を抑えるため、シンガポールでは、全ての開発地区で植物を生やした屋根や壁、または見事な庭園などの造園緑化を義務づけています。日本の都市計画も見習う余地があるのではないかと思います。

横組みP36～P41

ロータリーアットワーク 第2830地区 ロータくん、活躍中です！地区公式キャラクター「ロータくん」活躍中の話です。柔軟性のあるガバナー及びそれを受け入れる素晴らしい地区ですネ。

縦組みP4～P8

企業による障害者雇用の取り組み 最近企業及びロータリーでよく耳にする言葉DEI「多様性・公平さ・インクルージョン」

- ・他者を尊重する言葉を使う
- ・サポートを示す
- ・温かく迎え入れるインクルーシブな環境を助長する

スマイルボックス報告

委員長 八木沢浩司さん

羅田 秀顕様（足利RC）本日は地区ロータリー財団のご協力でお伺いさせていただきました、諸々ご負担をお掛けしますが宜しくお願い致します。

小関 栄さん 羅田秀顕様卓話ありがとうございます。

関谷 直人さん 先日の姉妹クラブ、友好クラブ合同親睦交流会行事ご協力お疲れ様でした。役員の皆様ご苦勞様でした。

アジア学院収穫祭ご協力の皆さんご苦勞様でした。

澤田 次男さん 海外姉妹クラブ来訪接待ご苦勞様でした。私用により長期欠席お詫び。

益子 浩さん 羅田秀顕さん西那須野RCによろこそ！

・多様性を重んじる

すでに障害者雇用に取り組まれている企業もたくさんありますが、今回は、初めて、あるいはこれから取り組もう、とされている皆様向けのお話です。ピーアシスト(株)人事開発部長、深水清志さんのお話です。興味のある方も興味のない方も一読願います。

縦組みP9～P12

この人訪ねて井上百合さん 日田ロータリークラブ 故郷・日田の風土に根差す酒を造る女性杜氏にして老舗7代目蔵元の話です。「男の仕事」とされてきた杜氏娘の助言もあり決意するが、老舗酒蔵の歴史を含めての記事です。一読の価値があります。

縦組みP14～P15

俳壇・歌壇・柳壇 柳壇：笑える句もあり、笑えない句もあります。是非楽しんで下さい。

角橋 徹さん 小関会長はじめ姉妹友好クラブ合同例会大変お疲れ様でした。

磯さんパラニアッケRC同行ありがとうございました。

星野 仁さん 姉妹友好クラブ合同例会お疲れさまでした。

季節の変わり目体調管理に気をつけましょう。

渡邊 将宏さん 今月は米山月間です、特別寄付のご協力よろしくお祈いします。

太田 仁さん アジア学院収穫祭楽しかったです、参加者の皆さんお疲れ様でした。

月井 美好さん 姉妹友好クラブ合同親睦交流会行事ご協力お疲れ様でした。

アジア学院収穫祭ご協力の皆さんご苦勞様でした。

柳場美枝子さん 羅田秀顕さん西那須野RCによろこそ！

八木沢浩司さん アジア学院収穫祭ご協力の皆さんご苦勞様でした。

出席報告		出席委員長 益子 修さん	
10月24日 第2396回（本年度第11回）会員数47名			
出席	28名	前々回10月3日	2394回例会
欠席	19名	欠席	22名
出席免除者	0名	M・U	0名
出席率	53.90%	修正出席率	46.80%

欠席者		M・U	
福本 光夫さん	鈴木 明裕さん		
橋本 貴行さん	齋藤 幸夫さん		
井上 雅央さん	榎本 建司さん		
伊藤 悟さん	磯 栄二さん		
君島 基子さん	小出 文雄さん		
久保 世一さん	松本 善明さん		
関谷 暢之さん	森 英夫さん		
須田 秀和さん	大原 栄さん		
高橋 智純さん	齊藤 誠之さん		
郷 艶華さん			

事務所 いたう家 那須塩原市扇町7-12 例会日 火曜日 12:30 例会場 いたう家 那須塩原市扇町7-12
 ☎0287-36-0028 FAX36-2854 ☎0287-36-0028

※10月のロータリーレート 1ドル149円